



特集

# 分ければ防げる ごみ火災

令和6年度、東部および西部クリーンセンター内で出火や煙が上がる事態が69件発生しています。リチウムイオン電池が原因でゴミ処理過程で出火した可能性が考えられます。

安全にごみの処分ができるよう、リチウムイオン電池の分け方・出し方を確認しましょう。

☎資源循環推進課 ☎2998-9146

必ず絶縁!

## 今年2件目 ごみ収集車の火災発生!

今年5月20日、破碎ゴミを収集中にごみ収集車の火災が発生。車体を切り開いて消火しなければならぬ事態になりました。車体の中から出火原因と思われる破裂した電動アシスト付き自転車のバッテリー（リチウムイオン電池）

が出てきました。

リチウムイオン電池による火災は、ごみ収集車やクリーンセンターでの処理に多大な被害を及ぼします。規模や火災発生場所によってはごみ収集がストップしてしまうこともあります。

電動アシスト付き自転車のバッテリーはごみ集積所に出せません!  
他市の清掃工場火災では、修繕に約40億円かかったことも!



▲消火活動の様子



▲出火原因と考えられる電動アシスト付き自転車のバッテリー



東部クリーンセンター所長

## 身近なリチウムイオン電池

携帯電話などの小型家電製品に使われているリチウムイオン電池。持ち運びができたり、繰り返し充電できたりと、とても便利です。

しかし、メリットだけではなく、強い衝撃が

加わると発火するデメリットもあります。

今やリチウムイオン電池を全く使わずに生活することは難しいと言えます。上手に活用し、使えなくなったときは、適切に処理しましょう。

電源コードがあってコンセントに接続しなくても使えるものには、リチウムイオン電池が使われていると考えてください。



収集管理事務所長



モバイルバッテリー 電気シェーバー 電動歯ブラシ 電子タバコ ハンディファン

ポータブル電源 ロボット掃除機 ゲームコントローラー ビデオカメラ ワイヤレスイヤホン コードレス掃除機